

美術館企画展「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！」

1 趣 旨 子どもの文化を研究している公文教育研究会の所蔵品の中から江戸や明治の子どもたちが描かれている「子ども絵」、子どもや大人が遊んだ「おもちゃ絵」など約 170 点を展示し、江戸や明治の暮らしを紹介する。

2 概 要

(1) 名 称 企画展「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！」

(2) 会 期 10月7日(土)～11月19日(日)
*一部展示替え 前期(10/7～29)と後期(10/31～11/19)

(3) 所在地 栃木市入舟町7-26

(4) 開館時間 午前9時30分 から 午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

(5) 休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌日に振替)

(6) 展示場所 展示室 A, B

(7) 展示作品数 約 170 点

(8) 主な展示作家 鈴木春信、喜多川歌麿、歌川国芳、歌川芳藤、山本昇雲など

(9) 観 覧 料 一般・大高生 800(640)円、中学生以下無料
()内は20名以上の団体料金

(10) 関連イベント ①講演会
「浮世絵と遊ぼう！—大人のまなざし、子どもの暮らし—」
10月8日(日)14時～(1時間程度)
講師 ^{ふじさわ}藤澤 ^{むらさき}紫 氏(本展監修者、國學院大學教授、国際浮世絵学会常任理事)

場所 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 大交流室

定員 70名(要事前申込、先着)

参加費 無料

申込方法 9月26日(火)10時～電話にて受付開始

②学芸員によるギャラリートーク

10月21日(土)、11月12日(日)

各回14時～(1時間程度)

予約不要、当日の観覧券が必要

③学芸員によるキッズギャラリートーク

11月5日(日)14時～(30分程度)

予約不要、保護者は当日の観覧券が必要

④ワークショップ 多色刷！ミニすり体験

11月5日（日）10時～16時30分

多目的室(つなてみち)

参加費 当日の企画展観覧券をお持ちの方に限り、お一人様1回無料（同伴の中学生以下のお子様も体験できます）

- 3 展示構成 展示室A,Bを使い遊びや学びにいそしむ子どもの姿を描いた「子ども絵」、親子の情愛を描いた風俗画や物語絵、鑑賞や遊びに使っていた「おもちゃ絵」、さらに子どもを主題にした絵巻や屏風、当時遊ばれていた貝合わせの道具や盤双六（ばんすごろく）などを展示する。
- 4 主 催 栃木市教育委員会、栃木市立美術館
- 5 特別協力 公文教育研究会
- 6 企画協力 青幻舎プロモーション
- 7 内覧会 10月6日（金）10時～12時

問合せ：	美術・文学館課
担 当：	河野
電 話：	0282-25-5300

主な展示作品



1. 鈴木春信《夏姿母と子》
明和4-5年(1767-68)頃
公文教育研究会蔵



2. 喜多川歌麿《風流子宝船》
文化2年(1805)
公文教育研究会蔵



3. 歌川芳藤《此中はおもしろきもの》
慶応(1865-68)頃
公文教育研究会蔵



4. 山本昇雲《今すかた 花やしき》
明治42年(1909)
公文教育研究会蔵

文学館企画展「花物語を描いた人 中原淳一」

1 趣 旨 中原淳一（1913～1983）は、戦前から戦後にかけて、イラスト、ファッション、インテリアなどの幅広い分野で活躍し、主に女性から多くの支持を集めました。特に専属挿絵画家として『少女の友』で人気を得て、戦後には自ら雑誌『それいゆ』、『ひまわり』などを編集・発刊しました。吉屋信子の著作の装幀や挿絵も、『花物語』をはじめとして多く手がけています。

本展では、当館が所蔵する書籍や雑誌資料を中心に、その業績の一部を紹介します。

2 概 要

- (1) 名 称 企画展「花物語を描いた人 中原淳一」
- (2) 会 期 9月16日（土）～12月3日（日）
- (3) 所 在 地 栃木市入舟町7-31
- (4) 開館時間 午前9時30分 から 午後5時 まで（入館は午後4時30分まで）
- (5) 休 館 日 月曜日（祝日の場合は翌日に振替）
- (6) 展示場所 2階多目的室
- (7) 観 覧 料 一般・大高生 330（260）円、中学生以下無料
（ ）内は20名以上の団体料金
- (8) 関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
10月21日（土）、11月19日（日）
各回13時30分～（30分程度）
予約不要、当日の観覧券が必要

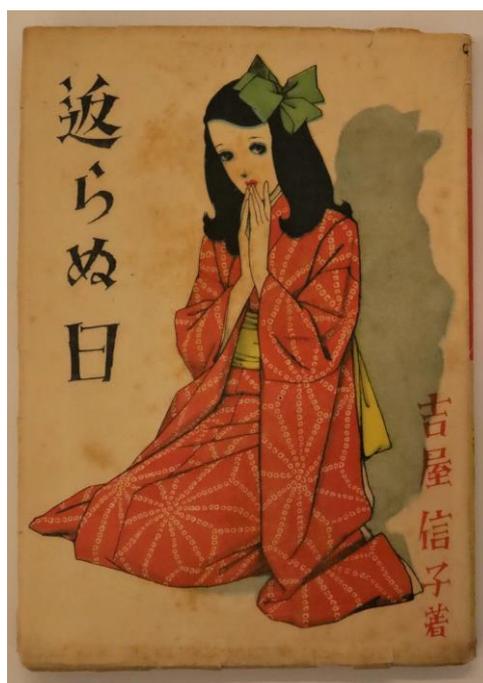
3 主 催 栃木市教育委員会、栃木市立文学館

問合せ： 美術・文学館課
担 当： 石川
電 話： 0282-25-5400

主な展示作品



吉屋信子『花物語 上巻』(吉屋信子記念会蔵)



吉屋信子『返らぬ日』(当館蔵)



『それいゆ』(当館蔵)